

調査等事項報告(団体名：会派改革クラブ(東京都))

視察(講座)先	リファレンス西新宿大京ビル(東京都新宿区西新宿7丁目21-3)
対応者(講師)	地方議会研究会講師 黒瀬雄大
視察(講義)日時	①令和8年3月25日14時～16時30分 ②令和8年3月26日10時～12時30分 ③同日14時～16時30分
視察(講座)項目	質問スキルアップ「効果的な質問にする」
視察(受講)者	阿部正任、高橋卯任
報告者	高橋卯任
視察(講義)内容	<p>1, 受講目的</p> <p>市民の意思・意見を反映させた市政運営や政策の実現のためには、市民の代表である議員の質問は重要である。市民の声を一層市政に反映させるための質問の質を高める。</p> <p>2, 講師</p> <p>黒瀬雄大氏は交野市財政課職員、交野市議会議員(1期)を経て、現在はITコンサルティング企業でITコンサルタント、データサイエンティストとして勤務。市役所在職中は税務室、財務課、こども室にて勤務。地方議会議員時代には自治体の効率化をテーマとして活動し、今も地方自治体や民間企業のDXを通じて、民間の立場から自治体の効率化に取り組まれている。</p> <p>3, 講義内容</p> <p>①質問、質疑の基礎講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政を動かす一般質問を行う ・マインドセット(心構え)の重要性 ・良い質問、悪い質問 <p>②質問づくりのためのデータの集め方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの重要性 ・質問に活かす資料の探し方 ・質問のためのデータを集める方法4 <p>③質問の組み立て方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問で叶えたいものを設定する ・良い質問の必須項目 ・職員の立場と議員の立場

4. 受講の感想

効果的な質問をするための準備、質問の組み立て方や議員としての視点などを改めて学ぶことができた。これまで一般質問や質疑の目的を理解して行ってきたつもりだが、「市民にプラスを届ける」という本来の目的から逸れ、質問者の思いだけを行政に押しつける質問になっていたのではないか、また「職業的懐疑心」・「健全な批判精神」の必要性や質問する議会のタイミングなど、改めて気づかされるが多々あり非常に得るものが多い講義であった。

最初の講座「議会の質問は何のためにするのか。議会の質問は行政を動かして、市民にプラスを届けるために行う」は、質問者として猛省を促されると共に本来の目的を強く再認識させられた。他に印象に残ったのは「無駄な質問質疑は議会にも役所にも迷惑」という講座だった。質問前と質問後で役所側の変化がない質問、言い換えればゼロ回答に至っている質問を指している。質問通告を行えば役所側は答弁作成に時間を割くことになる。その時間を無駄にさせないためにも、独りよがりではない理屈の通った質問を行う重要性を痛感した。

講師が市役所職員と市議会議員の経験を持つことから、講義資料は両サイドの視点を含め編成されており、さらに講義においても経験に基づく実例を組み込みながら説明されるので非常に分かりやすく充実したものだ。個別にいただいたアドバイスも参考に「市民にプラスを届ける」ために、会派・個人双方で引き続き質問のスキルアップに取り組んでいきたいと考えている。